



緑中だより

令和5年度第2号 令和5年4月21日発行

小金井市立緑中学校

小金井市緑町2-11-47 ☎042-383-1164

ホームページ

<https://midori-js.koganei.ed.jp/>



本校の教育目標

- すすんで学び、高い知性を身につけよう
- ◎社会の一員として、思いやりのある人になろう
- 希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう
- からだをきたえ、健康な人になろう

学校は、何を学ぶところでしょ

副校長 蓮沼 喜春

本校副校長2年目を迎えました、蓮沼^{はすぬま} 喜春^{よしはる}と申します。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、今回はいきなりタイトルに問いを掲げてみました。
生徒の皆さんは、学校は「何を学ぶところ」だと思いますか。

「**教科について学ぶ**」と考える人は多いことでしょう。言うまでもなく、学校では日々授業を行っています。中学校の1年間の総授業時数は1015時間。そのうち9教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語）の授業を合計すると、875時間（1年生は895時間）に上ります。学校生活の大半は教科の学習をしているといっている言い過ぎではありません。



しかし、学校では教科だけを学習しているわけではありません。例えば、「**人として必要なことを学ぶ**」という考え方もあります。あいさつをすること、ルールを守ること、誰かのために進んで行動することなど、人が社会の中で生きていくために必要なことは、もちろん家庭でも学びますが、学級活動や道徳、委員会活動や係活動、部活動などを通じて、一定の集団の中で過ごしていくことから身に付けていきます。

「**生き方を学ぶ**」という考え方もあるでしょう。中学校を卒業すると義務教育は終了し、進学するか就職するかも含め、自分の人生を自分自身で考え、決定していくことになります。将来どんな仕事に就きたいか、そのためにどのような進路を進めばよいか、資格が必要ならばその資格はどのようにして取ればよいか…。「どんな自分になりたいか」について、特に総合的な学習の時間を通じて考えていきます。2年生の職場体験学習は、地域の方にもご協力いただきながら、「働くこと」について体験を通じて学ぶ機会となります。



「**学び方を学ぶ**」という考え方もあります。話す、聞く、書く、読む、描く、計画する、調べる、まとめる、振り返るなど、学習を進める上で必要となる技法はいろいろあります。これらの技法もまた、学習を通して身に付けていきます。人によって、それぞれの技法には得意・不得意があって、「話すことは得意だけど、計画したりまとめたりするのは苦手」という人もいます。しかし、それならば「計画したりまとめたりすることが得意」な人と協力すれば、チームで一つのプレゼンテーションを創り上げることができます。このような「**配慮や協働の仕方を学ぶ**」ことも、学校だからこそできる学びではないかと私は思います。

生徒の皆さんが緑中学校で多くのことを学び、「何を学んだのか」を実感し、「これから何を学ばよいか」を自分で考え、さらに学び続け、豊かな人生を送ってほしいと願っています。そのための中学校生活3年間となるよう、本校の教職員が一丸となって皆さんを指導し、支え、見守っていきます。保護者や地域の皆様には、今年度も本校の教育活動へのご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

緑中生の活躍

■ 水泳部

FAREWELL MATCH

女子50m 自由形	準優勝	3年〇組	〇〇	〇〇
女子100m バタフライ	準優勝	3年〇組	〇〇	〇〇
女子100m 自由形	第5位	3年〇組	〇〇	〇〇
女子フリーリレー	第6位	〇〇・〇〇・〇〇・〇〇		
男子50m 平泳ぎ	第5位	3年〇組	〇〇	〇〇
男子フリーリレー	第5位	〇〇・〇〇・〇〇・〇〇		

東京都選手権大会参加標準記録突破

男子50m 自由形	3年〇組	〇〇	〇〇
男子100m 自由形	3年〇組	〇〇	〇〇
多摩最速リレー	選抜メンバー選出		
3年〇組	〇〇	〇〇	

学校からのお知らせ

■ 体育会の実施について

本年度は、6月3日（土）に体育会を予定しております。参観に関する詳細は後日改めてお知らせしますが、現在のところ以下のとおりで計画しております。安全に実施できますように、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

- 屋外での実施となることから、参観するご家族の方の人数制限は設けません。



- 自転車での来校はご遠慮ください。

また、5月22日（月）から体育会の練習を開始させていただきます。近隣の皆様には、体育会当日まで騒音等でご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解くださいますようお願いいたします。お気付きの点がございましたら、本校副校長までご連絡ください。

■ 新規採用教職員の紹介

4月19日付で、2名の教員が着任いたしました。よろしくお願いいたします。

■ 5・6月の主な行事

5月	
1 月	各種委員会
2 火	評議員会
3 水	憲法記念日
4 木	みどりの日
5 金	こどもの日
6 土	
7 日	
8 月	全校朝礼 部活動保護者会
9 火	
10 水	職員会議
11 木	
12 金	合唱鑑賞教室(2)
13 土	学校公開日 父母と教師の会総会
14 日	
15 月	
16 火	尿検査二次
17 水	
18 木	第1回定期考査
19 金	第1回定期考査
20 土	
21 日	
22 月	生徒会朝礼 体育会練習始 教育実習始
23 火	
24 水	生徒総会
25 木	
26 金	
27 土	
28 日	
29 月	
30 火	
31 水	体育会予行
6月	
1 木	
2 金	体育会準備
3 土	第51回体育会
4 日	
5 月	振替休業日
6 火	体育会予備日

【お知らせ】

「令和5年度就学支援制度のお知らせ」を配布しております。希望の方は、内容・注意事項等をお読みいただき、申請書を直接教育委員会までご提出ください。

提出先：小金井市教育委員会学務課窓口

（市役所第二庁舎7階 前原町3-41-15）

提出期限：令和5年4月24日（月）午後5時必着

※裏面に令和5年度学校経営方針概要を掲載しております。



令和5年度 学校経営方針(概要)

校長 塩原 真一

教育目標

- すすんで学び、高い知性を身につけよう
- 希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう

- ◎社会の一員として、思いやりのある人になろう
- からだをきたえ、健康な人になろう

1 目指す学校像

- (1) 教師も生徒も授業を大切にし、学び合い・育ち合いができる学校
- (2) 思いやりのある豊かな心が育まれ、生徒が生き生きと活動できる学校
- (3) 地域とともにコミュニティ・スクールの理念を生かす学校

2 目指す生徒像

- (1) 配慮と協働ができる生徒
- (2) 心身ともに健康で、確かな学力を身に付けるために努力できる生徒
- (3) 諸活動に意欲的に取り組み、目標に向かって頑張れる生徒

3 目指す教師像

- (1) 情熱があり、教育者としての使命感の強い教師
- (2) カウンセリングマインドを生かした生徒指導ができる教師
- (3) 生徒の良さを伸ばし、自信を付けさせることができる教師
- (4) 組織人として機能し、周囲との信頼関係が築ける教師

4 期待する家庭の姿

- (1) 基本的な生活習慣の育成に、当たり前前努力する家庭
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」で生活リズムの確立に努めている。
- (2) 子供の主体的な活動を見守り、好ましくない行動をきちんと正す家庭
 - ・親として子育てに責任をもち、学校・地域との連携に積極的に取り組んでいる。
 - ・正しい人権尊重の意識を備え、自分や他者の人権を大切にしよう子供に伝えている。

5 期待する地域の姿

- (1) 生徒一人一人を地域の子供として大切にする地域
 - ・子供の健全育成に積極的に取り組んでいる。
- (2) 学校との協働により、自らの教育力・自治能力を高めようとする地域
 - ・地域の子供としての意識をもち、共に育むため、学校との連携に努めている。

6 指導の重点

(1) 学習指導

- ▶ ICT機器の効果的な活用など指導法の工夫と改善を図り、生徒に考えさせ、生徒に力を付ける授業、生徒にとって分かりやすい授業を展開します。



- ・始まりと終わりの挨拶の徹底、チャイム授業の実施
- ・基礎的・基本的な学力の定着を図るための手だてを講じ、生徒の学習に対する不安感や苦手意識を軽減(払拭)
- ・常に「考えさせる」授業の実践、話し合いや発表等の機会増大

(3) 特別活動

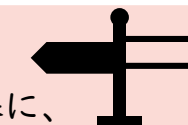
- ▶ 自他を大切にする集団生活の在り方を理解し、実践できる態度を育成します。



- ・生徒の創意工夫を生かした生徒会活動の推進、生徒の自治的・自発的態度、協力して課題解決を図ろうとする態度、いじめを許さない健全な精神の育成
- ・自然体験、生活体験、感動体験を通じた豊かな人間性と社会性の育成
- ・部活動を通じた精神力や体力の増進、自主的・実践的な態度の育成
- ・全教職員及び保護者の協力の下、部活動の充実を図る

(5) キャリア教育

- ▶ 三年間を見通した指導計画を基に、自己の特性と進路についての考え方を深め、望ましい学習観や職業観を身に付けさせ、主体的に進路選択できる能力を養います。



- ・「生き方を考えさせる指導」、将来において自己実現を図ろうとする意欲や態度の育成
- ・面談や保護者会、進路だより等をとおして、保護者の理解と協力を得て進路相談の充実、個に応じた進路指導の推進

(2) 道徳教育

- ▶ かけがえのない自他の生命を尊重する態度を育成します。



- ・生徒の興味・関心を喚起する資料の活用、「考え、議論する道徳」の実践、広い視野から多面的、多角的に考えさせ、道徳的な判断力・実践意欲の育成
- ・教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係づくり、家庭や地域との連携、生徒の豊かな人間性の育成
- ・生命尊重や人権尊重の精神の育成、規範意識の醸成、思いやりの心の育成

(4) 生徒指導

- ▶ 規律ある学校生活、自分や他者を大切にする指導を繰り返し行い、礼儀正しく挨拶のできる生徒を育成します。生徒とともに校則を見直していきます。



- ・基本的な生活習慣、集団の一員としての責任や他を思いやる心の育成、生徒と教職員の信頼関係、家庭や地域、教職員相互の信頼関係の構築
- ・いじめや不登校、問題行動等の未然防止、早期発見・対応
- ・生徒が成就感や達成感を実感できる生徒会活動、委員会活動

(6) 特別支援教育

- ▶ 特別な支援が必要な生徒に限らず、全生徒にとって適切且つ効果的な指導・支援を展開します。



- ・特別な支援が必要な生徒、特別な支援が必要と思われる生徒の実態把握、情報共有、早い段階から生徒の困り感に寄り添った指導・支援
- ・実践的な支援や合理的な配慮の在り方の共有、教職員の特別支援教育についての理解、支援技術の向上

7 地域・市民の信頼を深めるために

(1) 開かれた学校への取組

- ・保護者や地域等からの要望・意見等の的確な把握と迅速な対応、初期対応の重視、組織的対応
- ・生徒、教職員の地域行事等への積極的な参加、保護者、地域ボランティアの有効活用
- ・魅力ある行事、学校公開・保護者会・学校ホームページ等を通じ保護者・地域に学校教育活動を広報・周知

(2) 服務事故の防止

- ・教育公務員であることの自覚、職務の厳正
- ・体罰や生徒の人権を尊重しない言動等の慎戒、TPOにふさわしい身なりや言動
- ・公費・私費会計、個人情報(電子データ・紙媒体)の適切な処理